



千苅ダム下流左岸護岸復旧工事



武田尾のボルダリング岩残ったけど



武田尾温泉地区改修工事終わって松枯れた



青葉台地区河川改修と名塩道路工事続く



宝塚大橋改修工事で伊子志堰全転倒 (1月18日)



南部橋架け替え工事作業用橋梁づくりが続いている。

千苅ダム直下流右岸復旧工事が行われていた。千苅ダム正門付近から作業現場までの羽束川河川敷に土書を埋めた仮設作業道路が作られ川幅が半分くらいに狭まっていたが、湧水時期で流れも緩やかで濁水もなく川底まで見通せる位水は澄んでいた。

武田尾温泉地区の改修工事は完全に終わった。真っ新の護岸と武田尾名物の一つであったボルダリング岩が奇妙に見える。岩へ降りる階段はあるものの入り口は施錠され川へのアプローチはなくなったのに、ボルダリングを楽しむ人の姿があった。改修前は左岸から武田尾温泉旅館を見渡す絶景ポイントにあった松が枯れてしまった。河川改修以前は写生に訪れる人の姿が散見された。剥き出しの岩の間に架かっていた真っ赤な武田尾橋も真っ新なコンクリート護岸が背景になっても、年月が経過し古色を帯びるようになれば、それなりの風景として受け入れられるかも知れない。

青葉台付近の工事は着実に進展しているようではあるが、風景が変わったようには見えない。西宝橋仮設橋が完成したら、慣れるまで多少の不便を感じるのでは内だろうか。宝塚大橋橋脚工事と左岸下流の土砂掘削工事で伊子志堰では比較的短期間に全転倒・復帰が繰り返されている。南部橋架け替え工事現場では作業用橋梁工事が継続中である。

